



こいのぼりのお話

鯉は古くから立身出世の象徴とされてきました。中国の故事・伝説から「黄河の上流にある龍門の急流をさかのぼることができた鯉は、龍になって天をかける」と言われ、出世のたとえに用いられるようになりました。日本において鯉が縁起物とされたのは、江戸時代中期といわれています。五色の吹流しは、幼子の無事な成長を願って「魔よけ」の意味で飾られるようになりました。

参照

～鯉のぼりと五色の吹流しのお話～



卒園児の集い 11日(土)

3月に卒園した子どもたちを招いて交流会をします。一緒に食事をしたり、歌をうたったり、学校の話の聞いたり……。楽しく過ごします。

別の小学校に行ったお友だちとも久しぶりの再会です。

いつまでも、すいこうの卒園児をあたたく見守っていきたいと思います。



令和6年 5月の園だより



すいこう認定こども園

『こども会議』って？

園庭のハナミズキが今年もきれいに咲いています。ハナミズキの木の下に立ってぐっと手を伸ばすと、空を押し上げているような気持ちになります。新入園児さんの中には、まだ保護者の方と離れるときに涙が出るお子さんもおられますが、保育者に抱っこされると、安心して好きなあそびを見つけています。ご心配をおかけしますが、笑顔で手を触れる日ももうすぐです。

4月20日に幼児クラスの子どもたちは、安佐動物園まで親子遠足に行きました。雨予報は一変し、過ごしやすい天気となり、お目当ての動物たちを見ながら親子で楽しい時間を過ごしていただきました。動物園につくと、姉妹園の先生が、「卒園児が来てるよ」と教えてくれました。それは、私が第二みみょう保育園で年長児を担当していた時の子（現在36歳）でした。「先生、久しぶり。元気だった。」と声をかけてくれたのですが、わんぱくだった6歳のころとは全く違い素敵な男性に成長していました。数年前にもお買い物をしていたスーパーで「上原先生ですよ」と声をかけられたことがあります。その子は、12年前にくまの・みらい保育園を卒園した子で、18歳になっており、とってもきれいなお嬢さんに成長していました。保育実習などで再会する卒園児さんや「甲子園にレギュラーで出場した」という卒園児さんもいます。偶然出会えた時、卒園児の活躍を耳にしたとき、この仕事を続けてきてよかったと思う瞬間です。遠足にもたくさんの卒園児さんが来てくれました。昨今、保育士の仕事に対してマイナスのイメージがあるようですが、この子たちの成長を楽しみにし、未来に夢を託せるすてきな仕事と改めて思っています。

卒園児さんも素敵ですが、年長さんも『こども会議』ですてきな片鱗を見せてくれています。『こども会議』とは、数人のグループに分かれて、一つのテーマについて自分の思っていることを話します。一つのグループが9人くらいの少ない人数ですので、それぞれが思っていることを発言できます。1回目のテーマは、「どんな年長さんがかっこいい？」でした。「小さい子に優しくする」とか「何にでも挑戦する」、「ご飯を静かに食べる」など様々な意見が出て、子どもたちの表情は、やる気で満ちています。そして、給食の時間。子どもたちは、背筋を伸ばして座り、おしゃべりもしていません。大人に言われるよりも自分たちで意見を出し合い、考えて決め

たことは守らなくてはという気持ちになるのでしょうか。もちろん静かな給食の時間は、そう長くは続かず、いつものにぎやかで楽しい給食となったのですが、『こども会議』の目的は、給食をお行儀よく食べられるようになるなど、何かができるようになるためのものではありません。『こども会議』では、少人数で話し合うことによって、いつもは見ることはできない子どもの姿に出会えたり、「こんなことを思っているんだ」と感じさせられたりすることがあるのです。すいこうでは、日頃の保育の場面でも子どもたちの声に耳を傾け、思いを受け止めることを大切にしていますが、たくさんのお友だちの中では、話したくても話せないお友だちもいます。もちろん初めからたくさんの意見が飛び交うわけではなく、「うんうん」と頷いているだけの子どももいますが、少人数のなかでは、「うんうん」と頷いている子どもの目を見て、保育者が一緒に「うんうん」と頷いてあげることができ、その子と話したいタイミングをキャッチしてあげることができるのです。たとえテーマと違う発言でも勇気をもって話したことをしっかり認め、受け入れてあげることによって、話す喜びを体験してくれることと思います。話す喜びを体験した子どもは、人の話を聞く楽しさも感じてくれることでしょう。

第二回目の『こども会議』は、親子遠足前でしたので、「楽しみにしている動物」というテーマでした。一番合いたい動物のトップは、「オオサンショウウオ」でした。大人は予想外でしたが、子どもたちには子どもたちの世界があり、大人が思っている以上にいろいろなことを考え、感じています。さまざまな発言、思いを受け止めてもらうことで安心し、また、話したい、誰かに思いを伝えたいと思うのです。『こども会議』は、子どもたちのそんな思いを満たしてあげられるよう、定期的に関催したいと思っています。

今月は、吹く風もさわやかで戸外でしっかり遊べる季節です。さくらんぼの木や梅の木にちょっぴり実がついており、「何かなあ」と不思議そうに見ている年少さんに「さくらんぼよ。赤くなったら食べようね」と優しく話す年長さん。保育者が言わなくても年長さんが、代わりに伝えてくれています。今まで以上に子どもたちの声にしっかり耳を傾け、楽しい保育環境づくりに取り組んでまいります。

園長 上原玲子



どんなことでも語り合い、
相談しあえる場所がある
それは
心の安らぎがいつもある
ということ

子どもがなんでも「あのね～」と話すことを大人が受け止めていくことで、子どもは、心の安らぎを持つことができます。困ったとき自分一人を抱え込むのは、大人だってつらいですよ。どんなときでも「あのね～」と子どもが言える、「大丈夫よ」と安心させてあげられる親子関係。いつまでも大切にしたい関係ですね。

全国私立保育園協会



GW楽しくお過ごしください

ゴールデンウィークなどに楽しい計画を立てておられるご家庭もあるかと思いますが、今年も人出が多いようですので、無理のない計画を立てて、楽しい連休をお過ごしください。

近くの公園で、のんびり過ごすのもお子さんにとっては、楽しい思い出になると思います。

